

事務事業名	茨城県宅地開発協議会参画事業	事務事業No.	50101000763	所属課	都市整備課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
合併以前から、旧町村単位で行ってきたものを継続している。都市計画法令に関しては、地域主権改革一括法の施行等によって市町村への権限移譲が大きく進展している。開発許可事務に関しては、令和元年度より「茨城県知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例」に基づき権限移譲を受けており、市職員の資質向上を図ることが求められている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市職員の資質向上等を図ることは、第2次総合計画（前期基本計画）第5章に掲げる基本政策「快適な暮らしのまちづくり」の実現を図る上で不可欠であり、政策体系との整合は図られている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 茨城県宅地開発協議会は、宅地開発の方策の研究、知識の啓蒙・普及等を行い、魅力あるまちづくりに寄与すること等を目的として、県内市町村等が構成する唯一の任意団体であり、その性質上、市が関与することは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない 茨城県宅地開発協議会が実施する事業には、積極的に参画しており、市職員の資質向上と県内市町村との情報共有を十分に図れているため、向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市職員の資質向上と、他市町村との情報共有を図ることが困難になる。また、茨城県宅地開発協議会の性質上、退会は難しい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
効率性	<input type="checkbox"/> 余地がない 茨城県宅地開発協議会は県内市町村が構成する任意団体であり、統廃合や連携はできない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input type="checkbox"/> 削減余地がない 負担金の金額は総会で定められており、削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市職員の資質向上等を図ることは、効率的かつ効果的な業務の遂行を通じて、市民全体の利益に繋がる。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	⇨ 初任者研修、中級者研修及び共同研究事業（開発不適区域等における安全上及び避難上の対策の検討）に参画した。茨城県宅地開発協議会参画事業は、市職員の資質向上と他市町村との情報共有を図ることができる貴重な機会となっている。																							
③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性																									
<input type="checkbox"/> 終了 ■ 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 統廃合ができる</td> <td><input type="checkbox"/> 連携ができる</td> </tr> </table>				<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																								
<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																								
<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	<input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																							
		成果優先度評価結果 ⑦																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)				
課長確認後の評価	確認欄				
<input checked="" type="checkbox"/> A <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>A：継続（現状維持）</td> <td>C：終了、廃止、休止</td> </tr> <tr> <td>B：継続（改革改善を行う）</td> <td>D：2次評価へ提出</td> </tr> </table>	A：継続（現状維持）	C：終了、廃止、休止	B：継続（改革改善を行う）	D：2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>
A：継続（現状維持）	C：終了、廃止、休止				
B：継続（改革改善を行う）	D：2次評価へ提出				